

全日本軟式野球連盟は正しい少年野球の普及と育成を図る目的で昭和43年にその組織化に乗り出し、それらのチームを対象とした都道府県大会やブロック大会が盛んに行われるようになった。

長崎県軟式野球連盟は昭和46年8月に長崎新聞社の後援により『第1回県下少年野球選手権大会』と銘打って少年二部(中学生)に長崎市内4チームを含む9チームと学童2チームの県大会を主催している。

(8/22、25~26 : 大橋)

右表が中学生大会のトーナメント結果。



翌47年に県中体連と長崎新聞社との共催により少年12、学童4チームの参加で開催した県大会を第1回大会とした。

大会の詳細は翌日の長崎新聞に数枚の写真と試合のインングスコアに投手-捕手名や二塁打以上を放った選手名も記され、大会に臨む選手たちは気合の入れようが違った。



◆第1回大会の長崎新聞記事より◆

【第1回大会】 昭和47年8月26日～ : 大橋球場、長崎商高G

準決勝・決勝は雨天で9月10日に順延

参加 = 12 長崎 = 4、佐世保 = 1、諫早 = 1、大村 = 2、島原 = 1、西彼杵 = 1、北高来 = 1、壱岐 = 1

